

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」 仁和寺にある法師―「徒然草」
新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

		鋭	嘲	騎	逸	堪	浦	漂	綱	房	舟	如	僅	扇	忍
		エイ するどーい	チョウ あざけーる	キ	イツ	(カン) たーえる	うら	ヒョウ ただよーう	コウ つな	ボウ ふさ	シュウ ふね ふな	ジョ (ニョ)	キン わずーか	セン おうぎ	ニン しのーぶ しのーばせる
		鋭	嘲	騎	逸	堪	浦	漂	綱	房	舟	如	僅	扇	忍
		鋭	嘲	騎	逸	堪	浦	漂	綱	房	舟	如	僅	扇	忍
		ノ	、	、	ノ	ー	、	、	く	ー	、	く	ノ	ー	フ
		⑭ 鋭い 考え () い	⑬ 失敗を 嘲笑する () ()	⑫ 騎馬 戦 () ()	⑪ 偉人の 逸話 () ()	⑩ 任に 堪える () える	⑨ 浦沿いの 歩道 () ()	⑧ 空を 漂う雲 () う	⑦ 手綱を 握る () ()	⑥ 女房 () ()	⑤ 舟を 浮かべる () ()	④ 突如 として 雨が降り出した () ()	③ 僅かな 手勢 () か	② 扇の 的 () ()	① 恥を 忍ぶ () ぶ

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」
教科書に登場する漢字の読み

仁和寺にある法師―「徒然草」

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

① 月夜の 晩	()	①⑦ 過去の 情景 を思い出す	()
② 鐘 を鳴らす	()	①⑧ 故郷 へ帰る	()
③ 頼朝が 旗揚げ する	(げ)	①⑨ 面 を上げる	()
④ 鎌倉を 本拠地 に定める	()	②⑩ 弓を引き 絞る	(る)
⑤ 兵を 挙げる	(げる)	②⑪ 一差し 舞う	(う)
⑥ 城を 攻める	(める)	②⑫ 勝利の 歓声	()
⑦ 勢力 を伸ばす	()	②⑬ 職務上の 行為	()
⑧ 日暮れを 迎える	(える)	②⑭ 群衆を 制止 する	()
⑨ 手招き する	(き)	②⑮ 高価 な品物	()
⑩ 標的を 射る	(る)	②⑯ 欠点を 非難 する	()
⑪ 出場を 辞退 する	()	②⑰ 時間が 惜しい	(しい)
⑫ 義経の 絶対 の命令	()	②⑱ 敵 の意表をつく	()
⑬ 事実と 相違 がある	()	②⑲ 命懸け の作業	(け)
⑭ 風が 吹く	(く)	③⑰ 妙 に静まり返る	()
⑮ 激しい 北風	(しい)	③⑱ 待ち時間に心が 騒ぐ	(ぐ)
⑯ 車が 揺れる	(れる)	③⑲ 予防は治療に 勝る	(る)

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」
教科書に登場する漢字の書き

仁和寺にある法師―「徒然草」

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 恥を しのぶ	()	⑮ 月夜の ばん	()
② おうぎの 的	()	⑯ かね を鳴らす	()
③ わずか な 手勢	()	⑰ 頼朝が はたあげ する	()
④ とつじよ として 雨が降り出した	()	⑱ 鎌倉を ほんきよ ちに定める	()
⑤ ふね を浮かべる	()	⑲ 兵を あげる	()
⑥ にようぼう	()	⑳ 城を せめる	()
⑦ たづな を握る	()	㉑ せいりよく を伸ばす	()
⑧ 空を ただよう 雲	()	㉒ 日暮れを むかえる	()
⑨ うら 沿いの歩道	()	㉓ てまねき する	()
⑩ 任に たえる	()	㉔ 標的を いる	()
⑪ 偉人の いつわ	()	㉕ 出場を じたい する	()
⑫ きば 戦	()	㉖ 義経の ぜったい の命令	()
⑬ 失敗を ちようしよう する	()	㉗ 事実と そうい がある	()
⑭ するどい 考え	()	㉘ 風が ふく	()
		㉙ はげしい 北風	()
		㉚ 車が ゆれる	()

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」
教科書に登場する漢字の書き

仁和寺にある法師―「徒然草」

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 過去のじょうけいを 思い出す	()	□ 声をしのばせる	()
② こきようへ帰る	()	□ せんぷうき	()
③ おもてを上げる	()	□ きんさで勝つ	()
④ 弓を引きしぼる	()	□ だんぼう器具	()
⑤ 一差しまう	()	□ ひとふさのぶどう	()
⑥ 勝利のかんせい	()	□ つな引き	()
⑦ 職務上のこうい	()	□ 布をひようはくする	()
⑧ 群衆をせいしする	()	□ 気品がただよう	()
⑨ こうかな品物	()	□ 聞くにたえない	()
⑩ 欠点をひなんする	()	□ ひとをあざける	()
⑪ 時間がおしい	()	□ 目つきがするどい	()
⑫ てきの意表をつく	()	□ しんしんきえい	()
⑬ いのちがけの作業	()		
⑭ みように静まり返る	()		
⑮ 待ち時間に心がさわぐ	()		
⑯ 予防は治療にまさる	()		